

講義名	映画で学ぶ日常英語(総合)			授業形態	
担当教員	Joseph William Kelley	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本授業は、英語の映画を用いて、学生のリスニング力、スピーキング力、読解力、流暢さ、および文法力の向上を目的とする。学生は、授業内で映画を活用して英語を学ぶだけでなく、授業外でも映画を用いて英語力を向上させる方法についても学ぶ。さらに、映画を通して文化や言語使用のさまざまな側面について理解を深め、それらが自分自身とどのように関係しているかを考察する。学生は、自分が楽しめる映画を用いて英語を探究し、学習を個人化しながら、自分なりの声や言語への関心を見つけていく。

到達目標

- 本授業を履修することにより、学生は以下のことができるようになる。
1. 映画における自然なスピードの会話を理解できる。
 2. スピーキング力および発音を向上させ、英語における自分なりの表現の声を見つけることができる。
 3. 語彙、定型表現、口語表現を習得できる。
 4. 映画を通して、英語圏の社会や文化に関する理解を深めることができる。
 5. 英語力向上のためのツールとして映画を活用できるようになる。

提出課題

授業中に課題、ワークシート、小テスト、ユニット課題などが課されます。詳細は授業で説明します。課題はオンラインまたは紙媒体で提出できます。宿題は各授業で課されます。課題には、授業内外のグループワークやプロジェクトも含まれます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業中に口頭でのコメントと説明が行われます。フィードバックはオンライン学習プラットフォームにも記載されます

評価の基準

授業への参加態度・参加状況：20%
課題、映画レポート、口頭発表：40%
小テスト：20%
期末試験：20%

履修にあたっての注意・助言他

- ・欠席（遅刻を含む）が5回に達した場合、単位を認定しない。
- ・重要事項は初回授業で説明するため、必ず出席すること。
- ・授業中の遅刻や携帯電話の使用は当日の欠席として扱う。
- ・Campus Cross を定期的に確認すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

教科書価格は変更される場合がある。
配布資料や参考資料は授業内で適宜指示する。

授業計画

- 第1回 Orientation: Talking About Movies
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第2回 Genres: Understanding Movie Types
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第3回 Genres: Describing and Comparing
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第4回 Genre Sharing & Personal Preference
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第5回 Mirroring Lines: Movie Stars & Pronunciation
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第6回 Mirroring Lines: Movie Stars & Emotion & Expression
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第7回 Scene Analysis: Language in Use (Vocabulary)
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第8回 Scene Analysis: Language in Use (Grammar & Patterns)
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第9回 Scene Analysis: Language in Use (Communication & Pragmatics)
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第10回 Movies and Culture: Stories
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第11回 Movies and Culture: People & Relationships
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第12回 Movies and Culture: Comparing Cultures
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第13回 Movies and Use: Personal Connections
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第14回 Movie Review: Structure & Language
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
復習：復習・振り返り資料を完成させる。(120分)
- 第15回 Movie Review: Writing Practice
予習：授業および次回授業の予習資料を完成させる。(120分)
定期試験に向けて全ユニットを復習する。(240分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、洋画を用いて、英語の読解力・リスニング力の向上を目指すと同時に決まり文句を習得し、英語圏の文化知識を深めることにより、卒業時に身に付けておくべきグローバル社会で必要とされる資格・コミュニケーション能力の育成を目指す。これらの能力は、商学部生に求められる「自業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「経済にまつわる情報分析の力」、人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理等」の様々なテーマに取り組みこと・コミュニケーション能力の獲得につながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ベアワーク・グループワークを中心とした双方向型授業を行う。必要に応じて学習支援システムやオンライン教材等のICTを活用する。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

特になし。